

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
建築製図基礎		木下 誠一	演習	2	建築士	1, 2	3	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	実習を通して、建築空間を表現するための様々な製図の技法を習得する。また、スケッチ、パース、模型を作成しながら、空間のスケール感や立体感覚を養う。							
到達目標	図面が読み取れ、製図用具の使い方や建築設計の基礎的な製図法を身に着ける。							
回	学習内容							
1	ガイダンス、設計プロセス							
2	建築作品のフリーハンドスケッチ（1）出題・演習							
3	建築作品のフリーハンドスケッチ（2）出題・演習							
4	建築図面の種類、読み方と製図用具の使い方の説明							
5	建築図面の表現方法（1）配置図の解説・演習							
6	建築図面の表現方法（2）平面図の解説・演習							
7	建築図面の表現方法（3）断面図の解説・演習							
8	建築図面の表現方法（4）立面図の解説・演習							
9	建築図面の表現方法（5）展開図の解説・演習							
10	建築図面の表現方法（6）詳細図の解説・演習							
11	建築空間の立体表現（1）アクソメ図の解説・演習							
12	建築空間の立体表現（2）内観パース図の解説・演習							
13	建築空間の立体表現（3）外観パース図の解説・演習							
14	建築模型の作り方（1）模型材料と製作方法の解説・演習							
15	建築模型の作り方（2）模型製作							
予習内容 復習内容	予習：講義のテーマ毎に関連した文献等に目を通す。 復習：講義資料を読み返し、演習課題に取り組む。							
教科書	教科書は使用しない。演習課題ごとに資料を配布する。							
成績評価	出席を毎回取る。6 回以上欠席した場合には評価の対象外とする。 各演習課題の成果をもとに評価する（100％）。							
実務経験	一級建築士として建築設計事務所に勤務した経験を活かし、授業では実践的な計画・設計手法についても講義する。							
その他 特記事項	作品を完成させるためには、正規の授業時間だけでなく時間外での自主的な取り組みが不可欠である。随時、時間外での相談にも応じる。							